

# 数理科学委員会数理統計学分科会（第25期・第3回）

## 議事要旨

出席：青嶋誠、朝日弓未、北川源四郎、栗木哲、小林正人、西郷浩、佐藤美佳、竹村彰通、椿美智子、中西寛子、中村佳正、樋口知之(オブザーバー)、福重元嗣、松井知子、南美穂子、山下智志、美添泰人、渡辺美智子（18名）

欠席(予定)：上田修功、下津克己、椿広計、山田秀、吉瀬章子（5名）

I 日時 令和4年9月24日（土）10:30～12:00

II 会場 遠隔会議（Zoom）

III 議事

(1) 学術の中長期研究戦略公募への対応について

樋口先生から説明をいただき、分科会として公募することとした。

以下のような論点が出された。

- 提案分野として理工・工学とするか、分野融合とするか
- 人材育成や教育をどのように取り入れるか
- 実施機関・実施体制をどう考えるか

(2) シンポジウム開催について

日程及び場所を以下のように決定した。

- 日時：2023年2月17日(金)午後
- 場所：学術会議講堂

基調講演者の候補について議論した。パネルディスカッションについては、学術会議の関連する他の委員会からパネリストを依頼することとした。またシンポジウムの成果を意思の表出に盛り込むこととした。

(3) 数理統計学分科会からの意思の表出について

4月1日に当分科会より提出した趣旨、それに対する学術会議からの助言及び調査結果について検討した。助言に従い見解を作成する。2014年の数理統計学分科会の提言の時期と比較して統計学を取り巻く環境も変わっており、そのような変化を反映することとした。

(4) その他

上記の3つの課題について、委員にアンケートをとって仕事を分担することとした。

IV 配布資料

資料1 中長期研究戦略に関する樋口先生提供資料

- 資料 2 中長期研究戦略申請フォーム
- 資料 3 中長期研究戦略意向表明フォーム
- 資料 4 2030 年に向けた数理科学の展開
- 資料 5 数理統計学分科会からの意思の表出様式(4 月 1 日提出)
- 資料 6 意思の表出についての助言
- 資料 7 意思の表出についての調査結果